

# 海峰



学校長 西 裕之

## 明日また来たくなる学校を目指して

先週、子供たちに書いてもらったアンケートの結果から「学校に行くのは楽しいですか」という質問に対して「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた子供の合計は96.4%でした。昨年度の3学期は90.1%だったので、6%以上高くなったことが分かります。もちろん、数値だけで判断できることではありませんが、それでも多くの子供たちが「学校が楽しい」と思ってくれていることは嬉しいことです。

11月に、東京都世田谷区の小学校の校長先生の講演を聴く機会がありました。その話の中で、毎年6年生に実施している全国学力・学習状況調査のことについて次のように話をされました。

「全国学力・学習状況調査の国語や算数の平均点が昨年度よりどうだったとか、我が県は全国平均よりどうだったとかは話題になるけれど、一番の問題は、児童質問紙の『学校が楽しいですか』のポイントが、昨年度より6ポイントも下がっていることではないか」

子供にとって楽しい学校とはどんな学校でしょうか。これには様々な捉え方があると思います。教師側から捉えると、一番は楽しい授業をつくることです。「やってみたい」「考えてみたい」という子供の知的好奇心を揺さぶる学びを実現することです。前回の学校だよりでも書きましたが「今日の授業、面白かった」という子供の反応は、教師にとって何よりも嬉しい言葉です。

友達関係も大切です。仲間と共に活動することの楽しさや嬉しさを感じる経験は、豊かな人間性や社会性の育成につながります。本校のような少人数の学校では、友達関係が固定化されるため、学年や学校の枠を越えて交流する機会を大切にしています。

また、講演では、小学校での特別活動の重要性を話されました。私も同感です。今年は特に感じているのですが、学校行事や集会活動等での子供たちの表情がとても生き生きしています。企画する側の子供たちからも「みんなを楽しませたい」「会を成功させたい」という意欲が伝わってきます。

「楽しいから学校に行きたい」それが理想です。まだまだ理想の学校づくりができていないとは言えません。それでも、「明日また来たくなる学校」を目指して、これからも教育活動の充実を図っていききたいと思います。

### ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 学校からのお知らせ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### ◇富山県善意銀行・親切運動協力委嘱校 顕彰状をいただきました

本校は昨年度から2年間、富山県善意銀行の親切運動協力委嘱校として活動を進めてきています。ほかほか言葉の推進、地域の高齢者への花鉢プレゼントや保育園訪問、募金活動等、人とのふれあいを通して、思いやりの心を育む活動を行ってきました。2月10日に富山県善意銀行創立60周年式典に児童代表が出席し、顕彰状をいただきました。今後も、人との関わりを通して、他者を思いやる心を育てていきます。



#### ◇保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました

今年度も、学校評価やいじめに関するアンケート等、保護者の皆様のお声を聞かせていただき感謝申し上げます。学校は、お子さんの様子について、保護者の皆様と情報共有することで、子供の成長過程に応じた適切な支援策を考えるよう努めています。本校では、今年度のいじめ認知件数は0として報告しており、子供たちは落ち着いて学校生活を送っています。引き続き、お子さんの行動を見守ったり、言動に耳を傾けたりしていただき、気になることがあれば学校にご連絡ください。今後とも、子供たちの健全育成のために、ご支援いただきますようお願い申し上げます。